

内部障害理学療法学

[講義・演習] 第3学年 前期 必修 1単位

《履修上の留意事項》この科目はオンデマンド教材での事前学修を基に授業を行う。
毎回の授業においてオンデマンド教材の内容に基づく確認テストを受講すること。

《担当者名》 澤田篤史 as-51@hoku-iryo-u.ac.jp 阿部隆宏 多田菊代

【概要】

内部障害系の各種疾患における理学療法を学修する。

【学修目標】

一般目標

内部障害系疾患に対する理学療法評価やリスクマネジメントを理解する。

行動目標

1. 内部障害系疾患に対する理学療法評価を説明することができる。
2. 内部障害系疾患に対する画像所見の特徴を説明することができる。
3. 内部障害系疾患に対する生理検査の特徴を説明することができる。
4. 内部障害系疾患に対する理学療法評価を実践できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1) 2	内部障害系疾患に対する理学療法評価	・生理検査（血液生化学検査）	澤田篤史 阿部隆宏 多田菊代
3) 4	内部障害系疾患に対する理学療法評価	・運動耐容能検査	澤田篤史 阿部隆宏 多田菊代
5) 6	内部障害系疾患に対する理学療法評価	・運動負荷試験	澤田篤史 阿部隆宏 多田菊代
7) 8	総合アセスメント	・評価結果の統合と解釈	澤田篤史 阿部隆宏 多田菊代

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

定期試験85%（筆記試験） 授業内確認テスト15%

定期試験は返却しないが、個別での問い合わせに対しフィードバックを行う。

【教科書】

解良武士、椿淳裕 編 「CrossLink 理学療法学テキスト内部障害理学療法学」 MEDICAL VIEW 2019年

【参考書】

美津島隆 監修 「リハスタッフのためのイチからわかる臨床検査値活用術」 MEDICAL VIEW 2018年

ウィメンズヘルス理学療法研究会 編集 「ウィメンズヘルスリハビリテーション」 MEDICAL VIEW 2014年

医療情報科学研究所 編集 「病気がみえる 糖尿病・代謝・内分泌 第5版」 メディックメディア 2019年

医療情報科学研究所 編集 「病気がみえる 腎・泌尿器 第3版」 メディックメディア 2019年

宮越浩一 編 「がん患者のリハビリテーション-リスク管理とゴール設定」 メジカルビュー社 2013年

安部能成 編集 「終末期リハビリテーションの臨床アプローチ」 MEDICAL VIEW 2016年

【備考】

演習には動きやすい服装を準備すること。

授業において以下の目的にmanabaを使用する

1. 学習教材（授業資料）の配信、学習課題の提示
2. 学生相互の意見交換やグループ学習の実践
3. 学生の理解度を把握する技術の活用

【学修の準備】

1. この授業は、2年生までの解剖学、生理学、運動学、運動生理学、内科学、病理学などを基盤に行われるものであり、学修の準備としては毎回の授業に合わせて十分復習をしてから講義に臨むこと。
2. この授業は、授業前にオンデマンド教材を用いた事前学修を必要とする。また、授業中にオンデマンド教材での学修内容に関する確認テストを行う。学修の準備としては毎回の授業に合わせて十分に学修をしてから講義に臨むこと（80分）。
3. 復習は授業資料だけではなく、教科書や参考書、オンデマンド教材を活用して毎回の授業に関連する内容を十分理解すること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）理学療法士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

澤田篤史（理学療法士）、阿部隆宏（理学療法士）、多田菊代（理学療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

内部障害領域での理学療法士としての実務経験を通して得た知識・技術等を活用し、実践的な教育を行う。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している